

図21 家の手伝いについて

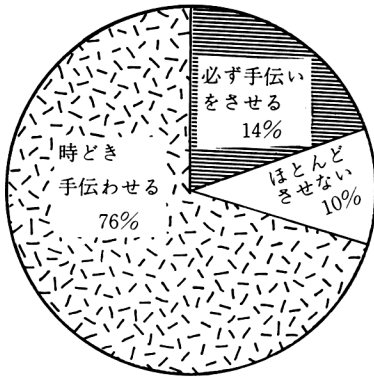


図22 手伝いについて (学年別)

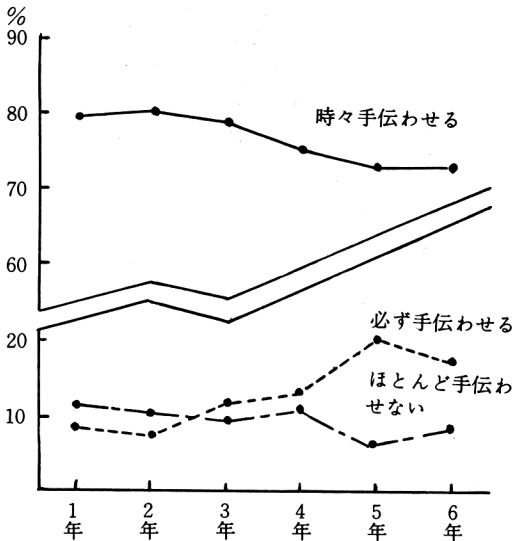
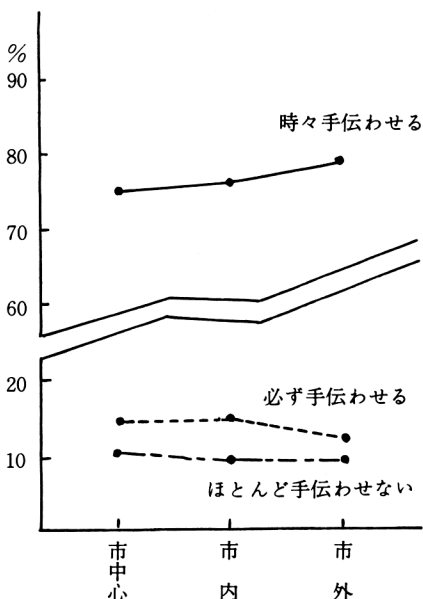


図23 手伝いについて (地区別)



(10) 塾、けいこごと、家庭教師について

塾通いが、教育界のみならず大きな社会問題の一つとしてクローズアップされてきている。しかしこの問題は依然として未解決のまま今日に至っている。本調査においても、図24に示すごとく、塾、けいこごとに通っている子供は全体で77パーセント、福島市においては実に85パーセントにも達していることがわかった。なお、これらのパーセントは、延人員であり、一人で2つ3つあるいは4つの塾やけいこごとに通っている子供も延べて計算されている。したがって、実人員を表示すれば図25のような割合となる。さらにこれを分析し、塾・けいこごとに2つあるいは3つと通っているものの割合を示すと、図26・27のようになる。なお、4つ以上の塾通いやけいこごとについては、人数が少なく図示できなかったが、福島・郡山に各1名、いわき市に2名の計4名があったことを付記しておく。

図24 塾・けいこごとに行っているもの(延人数)

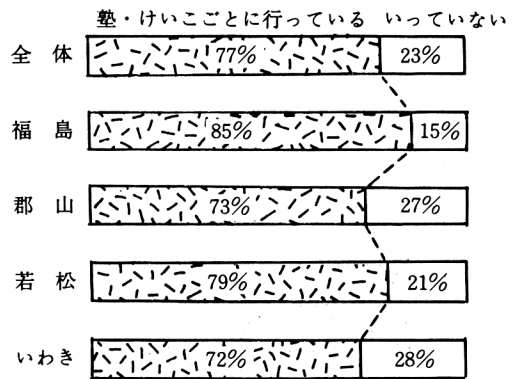


図25 塾・けいこごとに行っているもの(実人数)

